疫病と向き合う人々
～古代の防疫事情～

1

古今東西，人々は疫病が流行るたびにその脅威と向き合い，様々な方法でその困難を乗り越えようとしてきました。 発掘調査による出土品の中から，奈良時代の人々の願いが詰まった資料をご紹介します。

古代の人々は疫病の治療やその予防策として，「**人形**」や「**人面土器**」を使っていました。人形に息を吹きかけひとなでし，わが身の病気などの穢れを移し祓いました。同様に人面土器へそっと息を吹き入れて穢れを移し，川に流して祓いを行いました。

目には見えない疫病を前に，古代に生きた人々は「呪い」を頼りとし，現在に生きる私たちはマスクを着けて乗り越えていかねばなりません。

2

1. 人形（高畑遺跡出土）
   福岡市博物館常設展示で展示中
2. 人面墨書土器（高畑遺跡出土）

ーー福岡市博物館からのお知らせ

常設展示室

「歴史の風」に掲載されている文化財が展示されています。
場所：福岡市早良区百道浜3丁目1-1　月曜休館
http://museum.city.fukuoka.jp/

ーー埋蔵文化財センターからのお知らせ

企画展示「疫病に負けるな！ー福岡の場合ー」
期間：6月30日(火)～10月18日(日)

ミニ企画展示「ぬりえでおべんきょう」
期間：6月2日（火）～

場所：博多区井相田2-1-94　月曜休館
http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/

埋蔵文化財センター 公式動画チャンネル
「みんなでMYBUN！」開設しました！！
https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/maibun-c/life/mybun-doga.html

※新型コロナウイルスの感染防止策により，臨時休館することがあります。
各館のホームページをご確認ください。

ご来館の際はマスクの着用をお願いします！

福岡市経済観光文化局文化財活用部

住所: 福岡市中央区天神１-8-１
TEL: 092-711-4666　FAX: 092-733-5537

文化財の保存・管理・活用に関すること
文化財活用課　TEL:092-711-4666
史跡の整備・活用に関すること
史跡整備活用課　TEL:092-711-4784
埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること
埋蔵文化財課　TEL:092-711-4667
埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること
埋蔵文化財センター　TEL:092-571-2921

ホームページ　福岡市の文化財
http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/
Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！

歴史の風　ふくおか文化財だより
Vol.27　2020年6月

疫病退散！～山笠の起源～

古の人たちも，目に見えないものへの恐怖と戦っていました。現代に伝わる文化財にも，その思いが現れたものがあります。

博多を代表する夏祭りである博多祇園山笠。この祭りは，鎌倉時代に，市中に広まる疫病を退散させるため，博多承天寺を開いた聖一国師が，人々の担ぐ施餓鬼棚※から祈祷水を撒いたのが起源とされています。

※施餓鬼棚とは：お供え物を置く棚のこと

福岡市博物館の博多祇園山笠の展示

～さまざまな山笠～

広がる疫病退散の願い

毎年７月１～15日に博多で行われる国指定重要無形民俗文化財の博多祇園山笠行事の他にも，福岡市内では博多の影響を受けて始まったと見られる山笠行事がいくつかあります。その中で，唐原と小呂島の山笠は福岡市の指定文化財となっています。

唐原の祇園山笠行事

小呂島の祇園山笠行事

残念ながら今年は新型コロナウイルスの影響で実際の行事は見ることができませんが，福岡市博物館の常設展示では博多祇園山笠の追い山が展示されています。山笠の息吹を感じて夏を乗り切りましょう。

福岡市博物館の博多祇園山笠の展示

～福岡城跡の出土遺物から ～

地鎮に込めた安寧への祈り

1961（昭和36）年に福岡城の三の丸で，城とは直接関連のなさそうな，不思議な遺物が見つかりました。 発見されたのは仏教の法具である**輪宝**と，銅製の壺で，通常は寺院などで見られるものです。 輪宝は**古代インドの武器**をもとにした形をしていて，密教の儀式で**邪悪なものを振り払うもの**として使われます。 壺には蓋が付いており，中には砂や水晶が入っていたと伝えられ，仏教でいう舎利容器のような意味を持っていた可能性もあります。

輪宝 青銅製 約19cm（福岡城跡出土）
福岡市博物館常設展示室で展示中

これらの遺物は，福岡城の築造にあたって地鎮祭のような祭祀を行った時に埋納されたものと考えられます。 福岡城は1601（慶長6）年から7年の歳月をかけて築城されましたが，城の築造に携わった人々の願いや祈りを知ることができる貴重な資料です。

～埋蔵文化財センターだより ～

企画展示「疫病に負けるな！」のお知らせ

福岡市埋蔵文化財センターでは，6月30日(火)より，**「疫病に負けるな！－福岡の場合－」**と題し，第三展示室で企画展を開催いたします。

疫病は昔も今も変わらず人々をおびやかしてきました。今回の展示では，病気の痕跡が残る人骨や施薬に関する資料，疫病から身をまもり疫病を寄せ付けないための儀式やおまつりに使用した道具類などをご紹介します。福岡は，対外交流を成長のエンジンとして発展してきたまち。そんな福岡の先人たちは疫病という災いをどう乗り越えてきたのでしょうか。現在の私たちと変わらない，無病息災を願う昔の人々の思いを感じていただければ幸いです。

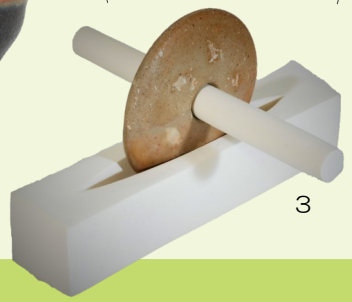
＼茶碗の底に文字？／

1

＼お茶は薬だった!？／

2

＼これは，薬を作る道具 どうやって使うの？／



3

1．九字墨書青磁碗（博多遺跡群出土）
2．天目茶碗（博多遺跡群出土）　3．薬研（鴻臚館跡出土）